

NZSJ は 1959 年 11 月から数えて、今年度は創立 62 年目を迎えております。

はじめに

日本ニュージーランド協会 会員の皆さま ご無沙汰いたしております。

梅雨明けを感じないまま、いきなりの真夏の季節ですが、皆様お元気でお過ごしのことと存じます。

2022 年度は 1 月のオンラインミーティングから始まり、3 月は NZ 学会と当協会の合同研究会もオンラインでの開催となりました。そこで 7 月の恒例のワインパーティもオンライン開催になるのでは思っていたのですが、メンバーや理事の方々の賛同により、今回は下記のような内容にて対面でのパーティを計画させて頂くことになりました。

お時間の調整が可能でしたら、是非お越してください。

久しぶりに皆様とお目にかかれることを楽しみ致しております。

日本ニュージーランド協会
会長 山崎 弘子

1. ニュージーランド🍷ワインパーティのお知らせ

久しぶりに夏恒例のワインパーティを対面にて下記の通り開催いたします。
ニュージーランド🍷ワインも用意いたします。
おいしい料理とワインで暑い夏を乗りこえましょう！
ぜひお誘いあわせの上、ご参加下さい。

記

日時： 2022 年 7 月 23 日（土）15:00～17:00
(15:00 受付開始)

会場： カフェレストラン「TIFFANY」
東京都杉並区下高井戸 1 丁目 2 2-2
☎03-3304-1189

京王線 桜上水駅北口より徒歩 2 分
※ 桜上水駅改札を出て、左側(北口)のエスカレーターを降りて、すぐ右へ 40m 行き、ドトールコーヒーのある T 字路を左折した 30m 先にある最初の十字路の右前角の 1 階です。

会費： 4,000 円
(食事、ワイン、デザート、コーヒー)

参加申込：参加される方は、7 月 18 日（月）までに下記までご連絡ください。

山崎 弘子 nzsj@outlook.jp



2. 伊藤秀海氏の写真展

4月16日(土)に東京、中野のケンコートキナーギャラリーで開催された伊藤秀海氏の写真展「-Pause-屋久島の呼吸」に山崎会長含め4名で行って来ました。

伊藤氏との最初の出会いは、2020年10月に静岡県の三島スカイウォーク開催された日本とニュージーランドの架け橋をテーマにした写真展に行ったときでした。ニュージーランドに魅せられ長年に渡り写した幻想的な写真集も発行されて、展示販売されていました。

このご縁を機に当協会にお誘いし、2021年3月に当協会ホームページ <http://nzsj.tokyo> にて「ニュージーランドを愛する人々」の一人として紹介させて頂きました。

その後2022年1月29日(土)のオンライン新年会で「屋久島の生活とニュージーランドのつながり」と題したスライドショーを披露していただいたほか、3月19日(土)にオンラインで開催された合同研究会では、「ニュージーランドから学んだ“表現する生き方”」という題目で発表して頂きました。

今回中野のケンコートキナーギャラリーで開催された写真展ではニュージーランドから帰国後2022年1月1日より彼が定住地と決めた屋久島での暮らしの中で、時間などに束縛されない自然環境下で写した幻想的な風景などの写真が展示されており、大変感銘を受けました。



(写真中央：伊藤秀海さん、写真左：筆者の佐藤松雄理事)

3. オンライン新年会の実施報告

日時：2022年1月29日(土) J S T 13:00~15:00, NZST 17:00~19:00

会場：Zoomによるオンラインパーティ

会費：無料(参加者が各自で片手に乾杯用🍷ドリンクを用意)

昨年末のクリスマスパーティも残念ながら開催できませんでしたので、オンラインながらも久し振りに皆さんと顔を合わせての「**オンライン**🍷**新年会**」を企画・開催しました。

今回は、ニュージーランド大使館より宮崎智世さん、ニュージーランドよりNZJSの今井久美子さん、大阪より呉橋真人さん、さらに屋久島から写真家の伊藤秀海さんなど総勢17名に参加いただいて、盛り沢山の新年会となりました。



← 残念ながら今井久美子さんは、不意な来客のため途中参加となり乾杯には間に合いませんでした。

ニューージーランド大使館大使付エグゼクティブオフィサーの宮崎智世さんより、2022 年はニューージーランドと日本の外交樹立 70 周年の年であり、大使館では 1 年を通して二国間の友好の絆や協力の歴史について様々なストーリーを発信して行くこと_などのお話がありました。



Jillian さんより Google Map Street View で自宅の紹介があり、夏真っ盛りの Jillian さん宅の周辺ではセミが良く鳴いている事、庭にはヒガンバナ(ネリネ)が咲き、茄子、リンゴ、豆などが採れるコトなど、実際の収穫物を手にしながらの話を見聞きする事ができました。



Jillian さん宅への入口

NZSJK 呉橋真人さんより、長年の友人である Ian Forlong さんが紹介され、Ian さん本人より、彼の実家(農場)がある Ohura は、今はメキシコ料理店とパブが各 1 軒ずつと消防署しかない田舎町であること、日本語と数学の先生として活躍されている事、日本を何度も訪問されたことなどの自己紹介がありました。



Ian さんの実家がある Ohura

Jillian さんの家がある Paeroa

写真家として今年の 1 月より屋久島へ住み着いておられる伊藤秀海さんより「屋久島の生活とニューージーランドのつながり」と題したスライドショーの発表があり、屋久島の様子やニューージーランドとの類似点、ニューージーランド最大の樹森の神「タネ・マフタ」と屋久島の「縄文杉」が『姉妹木』の関係にあること、ニューージーランドに住み着いてから写真家になったいきさつなどについて熱く語って下さいました。



新年会の最後には、八木倫明さん(やぎりんさん) リードの下で恒例のポカレカレアナをオンライン合唱しました。(やぎりんさん作詞の日本語版にて・・・)

4. 季節のご挨拶(2021 年 12 月)

季節は巡り、今年も早いもので年末となりました。この時季になると、いつものことながら自然の営みで夏至が近づき、8 時頃に台所に立つと、右手西の方から、夕陽がまっすぐ入り込んでくるようになります。ツバメたちも巣を作り、子育てを始めます。セミも鳴き始めます。しかし、ここのセミ、体が小さいこともあり日本のセミの鳴き声のような迫力はありません。夏の始まりとはいえ、朝は寒く、ときどきストーブを使うこともあります。



パエロア(Paeroa) という町

私たちが住んでいるパエロア(Paeroa)という町をご紹介します。Paeroa とは先住民のマオリ語で、長い山並の分水嶺を意味します。町は山並の西側に広がる平地にあります。緯度は南緯 37' 4"、経度は東経 175' 7" に位置します。地図を赤道で半分に折り曲げると、日本の福島県の郡山あたりになります。郊外を含めて、人口は郊外を含めて、人口は 4,600 人です。ロケーションは北島の中心よりやや北にあります。主産業は酪農です。

町の中央を東西に国道 2 号線が通り、南北にも国道 26 号線が通り抜けています。この国の最大の都市オークランドは北西にあり、距離は 121km、車で約 1 時間 40 分で行けます。2 号線を東に向かえば、第 5 の都市タウランガに通じます。距離は 79.4km あり、所要時間は 1 時間 20 分で着きます。国道 26 号線を南に辿れば、この国の第 4 の都市ハミルトンに通じています。距離は 76.7km あり、所要時間は 1 時間ほど。国道 26 号線を北に向かえば、32km で J の故郷テームズに行けます。



パエロアの町には国道のバイパスはなく、町の中心を国道が通り抜けています。国道は町の中では制限時速は 50km となりますが、町を離れると 70km に、そして 100km となります。もちろん通行料金は無料です。日本の高速道路のように高架になっておらず、郊外では羊や牛などが、高速道路を横断することもあります。交通は対面通行ですから、もし時速 100km の車同士が正面衝突すれば、悲劇的です。

わが家から車で町に向ってみましょう。家を出てしばらくすると国道 2 号線にぶつかります。ここに入ると、いきなり走行時速 100km で走らなくてはなりません。このドライバーたちは、妙に制限時速に忠実に運転しがります。少しゆっくり目に走っていると後続車がイライラしているのが、よく分かります。道路の舗装は、日本の昔々の方法が今でも使われています。コールトールを路面に吹き付け、砂利をその上にバラまくだけ。転圧は走る車に任せられます。舗装されたすぐに後に走ると、砂利がタイヤの下でパラパラと音を立てます。完全に転圧されていないため、高速の車が、これを跳ね飛ばして対向車のフロントガラスを傷つけることがよくあります。

わが家は町の東方約 6.5km にあり、5 分ほどで着きます。時速 100km で走った後、町に入ると 50km になります。平屋一戸建、芝生付きの家々が立ち並ぶようになります。園芸大国といわれるだけあって、家の周りには塀の代わりにバラ、椿、西洋シャクナゲなどが植えられていて、一年を通して、花を咲かせています。家によっては、果樹を植えてあるところもあります。タネを播いて育てる一二年草は、あまりありません。芝生は法律的に決められている訳ではありませんが、どこの家も短く刈り込まれています。生まれながらの NZ 人の DNA がそうさせるのでしょうか。草が伸びると、ローンモアを持ち出して刈り始めます。

2 階建の家は、ほとんど目にしません。しばらくすると、左手に巨大な清涼飲料水の瓶の彫刻が現れます。この町は、古くはいい水が出ることから全国に知られた清涼飲料水を

生産する町でした。今はその工場はありませんが、かつてのシンボルを彫刻にしてあるのです。歴史の短いこの国では、他はその工場はありませんが、かつてのシンボルを彫刻にしてあるのです。歴史の短いこの国では、他にも魚や犬、キウイなどの、こうしたシンボルになるものが街角に立てられていることがあり、観光にも魚や犬、キウイなどの、こうしたシンボルになるものが街角に立てられていることがあり、観光名所となっています。この辺りからオヒネムリ川が町に沿って流れるようになります。

国道 26 号線へのラウンドアバウトを越えると、道の両側に商店が立ち並ぶようになります。アンティークショップが多いのが、この町の特徴です。しかし、本格的なアンティークというよりは、セカンドハンドの商品を扱う店がほとんどです。

車を路側帯の無料の駐車スペースに駐車して、町を歩いてみましょう。駐車されている車は圧倒的に日本車が多く、7~8割ほど。後の残りが、ホールデン豪州、ドイツ車、韓国車 現代、起亜といったところです。EV は見たことがありません。この町には鉄道が通っていません。当然のことながら駅はありません。そのため、センターになる場所がはっきりしません。市内循環バスもありません。

高層ビルもなく、高層マンションもアパートもありません。それに特徴的なのが、信号機がないことです。公立の図書館が一つあります。しかし週末は土曜日に午前中だけ開き、日曜日は休館日です。週日でも 5 時半には閉館してしまいます。これでは、一般社会人はとても利用できません。

町のほぼ中央にドメインがあります。最近ではドメインといえばメールアドレスの一部の名称として知られていますが、古くから英国圏ではドメインは、公園や競技場が兼用となった場所のことを意味します。ご多分に漏れず、この町にも広大なドメインがあり広々としたラグビー場があります。ラグビーと言えば、この国の国技のようにポピュラーなスポーツ競技ですから、芝生のラグビー場も町の必須の施設なのでしょう。

大型スーパーが一軒、医療機関が二か所ありますが、今現在、何故か歯科の先生はいません。一番近い歯科がある町までは 32km、車で走らなければなりません。町でうるさいと感ずるのは、矢鱈とクラクションを鳴らす車があることです。どうも車に乗っている友人や知人を見つけると親愛の情を表わすため鳴らすようなのです。自分も運転していてクラクションを鳴らされると吃驚してしまいます。何か他の方法を考え出してほしいものです。

前々から不満なのはパン屋さんがいないことです。スーパーにパンは売っていますが美味しくありません。雑貨屋の片隅に雑誌を並べてあるところがありますが、書店がありませんし、映画館もありません。農協もありません。パブは一軒だけあります。音楽、演劇、舞踏などを上演する文化会館センターはありませんが、学校の体育館のような施設があり、ここで文化会館の代わりにされることもあります。エスカレーターのある建物もありません。

町の特徴を知るのに、その町のいちばん高い建物が何かを知ると分かってくることがあります。ホテルが一番高いとなれば、その町は観光地です。企業城下町なら、その企業の建物が一番、高いでしょう。地方に行けば、お役所、農協、漁協といったところになってきます。パエロアではどこかと言えば、3階建てが一番高いところです。元々の企業が倒産し、今では数社の製造業が入っているとか。これではパエロアの町の特徴を象徴しているとは言えませんね。

相当な田舎の感じがしますが、交通の要衝に位置し、市役所の本庁があつたりして、この人たちにとってはこの地域のかんりの中心都市の意識があるようです。

わが家のロゴ付の皿が完成

かねてから考えていたわが家のロゴ付の皿が、遂に完成しました。作製したのはHの古くからの友人で豪州・アデレード在住のピーター・スティーブンス。彼は多才で2018年に、出版されたJとHの共著「元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本」の表紙の絵もコンピュータを駆使して描いてくれました。

ロゴのデザインは、Hの姓の頭文字HとJのYとを組み合わせたものです。Mは山、Yは木をイメージしてデザイン化したものです。出来上がった皿を見ると、文字部分が今一つくっきりと仕上がっていない不満もありますが、今ではようやく完成したという満足感の方が強くあります。



2021 年 12 月

アオ テア ロア(長く白い雲のたなびく国) ニュージーランドより

ジリアン・ヨーク

jisabelle29yorke@gmail.com

森下 均

arbo4000@gmail.com

住 所

37 Edwin Road, RD4, Paeroa 3674, New Zealand

電 話

国番号(64)-7-862-6834



年会費納入お願い

会員の方は2021年度年会費3,000円を例会などへのご出席時にお支払いいただくか、最寄りの郵便局または銀行にて下記口座へお振込み下さいますようお願い申し上げます。

銀行名：ゆうちょ銀行 記号：10180 番号：74818531

受取人名：ニホンニュージーランド'キョウカイ

なお、一般銀行からの振込方法は以下の通りです

銀行名：ゆうちょ ⇒ 支店名：先頭文字セを選択 ⇒ リストから〇一八を選択

口座番号：7481853(末尾の1を削除) 受取人名：ニホンニュージーランド'キョウカイ



日本ニュージーランド協会

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN

2021年度役員（会長以外は50音順）

会長：山崎 弘子

理事：麻生 敏子(会計)、生沼 玲子、神谷 尚武、片山 愛一、佐藤 松雄、

Jillian Isabelle Yorke、真島 由香、庄司 桂一郎(副会長)、丸山 有紀子、

水野 伸夫(副会長)

顧問：黛 雅男

このニュースレターは、バックナンバーも含めて当協会ホームページでご覧いただけます



ホームページ
<http://nzsj.tokyo>

メールアドレス
nzsj@outlook.jp

